

様式 3

議事録

全部記録 ■ 要点記録

1. 会議名	第 2 回 姫路市地域公共交通会議離島航路分科会
2. 開催日時	令和 2 年 12 月 1 日(火曜日) 午後 2 時 8 分～午後 3 時 40 分
3. 開催場所	姫路ポートセンタービル 5 階 503 号室
4. 出席者名	出席者 委員 池田一憲、池田田鶴、内山雅史、大原尚、岸本成喜、喜多秀行、小林正和、土谷穰、富田慶一、中村厚志、畑野長利、福田弁一郎、植田敏勝(50 音順 敬称略)
5. 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴可、傍聴人 なし
6. 議題	<p>【審議事項】</p> <p>(1) 離島航路維持改善計画策定調査事業の経過報告について</p> <p>(2) 姫路港～坊勢島航路 生活交通確保維持改善計画(中間報告)</p> <p>(3) 離島航路維持改善計画策定調査事業の進捗報告について</p> <p>(4) その他</p>
7. 会議概要	
事務局	<p>只今より、「令和 2 年度第 2 回 姫路市地域公共交通会議離島航路分科会」を開催致します。</p> <p>本分科会の開催には、「姫路市地域公共交通会議離島航路分科会規約」第 7 条第 2 項の規定により、委員総数の半数以上の出席が必要とされております。本日は、委員 14 名中、半数以上の 13 名の出席をいただいておりますので、本会議が成立していることをご報告させていただきます。また、会議は、本分科会規約第 7 条第 5 項の規定により、公開することとなっておりますので、ご了承いただきますようお願い致します。</p> <p>本分科会規約第 6 条第 2 項及び第 7 条の規定に基づき、姫路市都市局交通計画室長を会長とし、会長が議長となることとしております。それでは、会議の進行につきまして、植田会長よろしくお願い致します。</p>
会長	<p>本日は、お忙しい中、本分科会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。会議次第に沿って、進行させていただきます。</p> <p>それでは、会議次第「2 審議事項」の「(1) 離島航路維持改善計画策定調査事業の経過報告について」事務局より説明をお願いします。</p>

事務局	【事務局説明】
会長	<p>只今の事務局からの説明につきまして、ご意見・ご質問等はございませんか。</p> <p>無いようですので審議事項について、お諮りします。原案どおり、承認としてよろしいでしょうか。</p>
委員	「異議なし」
会長	<p>「異議なし」の声をいただきましたので、原案どおり、承認とさせていただきます。</p> <p>次に会議次第「2 審議事項」の「(2) 姫路港～坊勢島航路 生活交通確保維持改善計画(中間報告)について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	【事務局説明】
会長	只今の事務局からの説明につきまして、ご意見・ご質問等はございませんか。
委員	1 ページ目の近年の経営状況、経営損益について、これは実績ですか、それとも見込みですか。
事務局	こちらについては航路事業者からのご提供いただいた実績になります。
委員	前年度実績ですか。
事務局	こちらは過去2年間の航路損益計算書から数値を抜粋させていただいています。
委員	1 ページの一番上、「生活交通確保維持改善計画策定の背景・目的」という見出しのすぐ下は、計画策定の目的が書かれているべきですが、「計画を策定することを目的とする」と書かれています。何かおかしくありませんか。目的が手段になってしまっている感じがします。「〇〇を実現する」ために計画を策定するのですよね。「〇〇を実

	<p>現する」というのが計画策定の目的であり、そのための手段が計画を策定することで すね。計画を策定するために計画を策定するのですか。</p>
事務局	<p>今ご指摘いただいたところにつきましては、姫路港～坊勢島航路の継続的な航路維持、 航路収支の改善、事業者ニーズ等を踏まえた適切なサービス水準の提供等がこれらの 目的となりますので、これらを実現させるための方法をまとめたものを計画とし、策 定していきたいと考えております。</p>
委員	<p>そうすると、これは書き間違いになるのですか。</p>
事務局	<p>計画策定自身が目的ではないので、その点については表現を見直したいと思います。</p>
委員	<p>目的が達せられる計画になっているかどうかは計画の評価になると思いますが、それ はどのあたりで見たらよいのでしょうか。例えば最後の41ページ、「4. ご検討い ただきたい内容」について、これは計画が妥当かどうかというのをチェックしてくだ さいという話であろうと思いますが、その時の目的というのはどれになるのでしょ うか。</p>
事務局	<p>本日は中間報告になるので、これまでの地域並びに航路の現状とアンケート調査結果 に基づいて、最終的に航路を維持しながら、利用者ニーズを満たすための取組方策、 こういうところを検討していきたいと考えております。こういうところでご検討をお 願いします。</p>
委員	<p>目的は最初に設定するものではないのでしょうか。例えばコロナ禍中にある今でした ら、医療崩壊を避けたい、医療崩壊を避ける目的でどのような医療体制を作った らいいのか、人の行動計画をどう作るのか、或いは物資調達計画をどうするのか、 といったような方策をまとめたものがたぶん医療崩壊を避けるための計画になり、そ の計画が妥当かどうかは医療崩壊が避けられたかどうか、或いは事前であれば避けら れる見込みが十分あるかどうかという観点から、物資調達とか、医療体制とかの計画 が良いかどうかというのを評価することになるはずで。中間報告であっても目的は はっきりと作っておかないといけないのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>第1回離島航路分科会のおきも位置づけ的なものはさせていただいたと思っておいま</p>

	<p>すが、航路については採算航路として運行していただいています。その中で航路維持改善計画は、国庫もしくは各市、姫路市も含めて支援をしていくという中で位置づけられた協議会ですので、航路維持改善計画については国ないし市で支援していくのは必須項目であり、その内容を踏まえた生活交通確保維持改善計画を発表することを目的とするというのは、この表現でも間違っておらず、維持改善計画を策定していくという背景の中の今の現状の策定の中にそういったものを盛り込んでいく、落とし込んでいくというような内容になっていくのかなと考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>委員からのご指摘として、目的が明確にできていないということかと思いますが、この文章を読む限り、姫路港と坊勢島航路の継続的な航路維持、これが最大の目的ではないのかなと考えております。それについて事務局はどう考えていますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>本航路が安定して継続的にこれからも末永く運行していく、運行され続けるということが最大の目的であると考えており、支援の方策としての位置づけも、そのような内容のものになっていると思います。一番大きな柱は、本航路を維持し、安定的な経営を図りながら末永く運航することと考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>そうすると、この計画が終わった暁には今まで以上に安定的で利便性の高い航路になっているということでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。その通りです。</p>
<p>委員</p>	<p>そうであれば、そのように書いてください。</p>
<p>会長</p>	<p>ご指摘もありましたので、前文について少し目的をはっきりさせて、その手段として航路収支改善や、利用者ニーズを取りまとめたものが航路改善計画であるというところがわかるような表現に前文を入れ替えた修正をさせていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>ではまず1ページ目の生活交通確保改善計画策定の背景・目的の中の目的をはっきりさせるということで前文について少し表現を手直ししていくというところで、進めさせていただきたいと思います。</p>

委員	<p>3、4ページに人口推移と将来推計が示されています。国勢調査を基にした推計値と姫路市の人口統計データを基にした実績推計がずれた形で書かれていますが、このずれの原因は何なのでしょう。</p>
事務局	<p>このずれの原因の1つは、平成27年という古いデータに基づいた予測になってしまっていることだと考えられます。それ以降で令和2年の姫路市の統計データで、実際の人口が大きくなっているのは、国勢調査と少し調査方法が違うことによるものと思います。つまり、国勢調査では実際にそこに住んでおられる人数を数えますが、姫路市の人口の統計データは住民基本台帳に基づいているので、実際に姫路市に住んでいない人も含めて住民票がある人の人数も含まれます。例えば大学に通っている人など、実際には姫路市には住んでいないが、住民票は姫路市にあるといった人も含まれているため、多少ずれが大きくなっていると考えられます。</p> <p>改めて言い直しますと、二つ原因があると考えられて、その一つは古いデータに基づいているために少し減少幅が大きくなっていること、もう一つは姫路市の人口の統計データと国勢調査のデータの取り方が違うこと、ずれはこの二点が原因ではないかと考えられます。</p>
委員	<p>統計値の定義の違いによるものであろうかと思いますが、それはそれできちんと書いておいたほうが良いのではないのでしょうか。一つ想像したのは、国勢調査の将来推計というのは言ってみれば自然増・自然減と社会増・社会減がありますが、何もせず手をこまねいていたら、こうなるという推計値が国勢調査の推計値であって、人口がどんどん減っていくと困るということで姫路市が様々な手立てを打った結果こんな実績を実現しているのではないかと考えます。そのように理解していいのか、それとも違うのか、もし、様々な手立てを打ってここまで人口減を食い留めているとしたら、将来の推計はその努力が続くのか、或いはさらに強力に進めるのかといったようなことで変わってくると思います。それをどのように見込んでいるのかが推計の内容になると考えますが、そこはどのようになっているのでしょうか。</p>
事務局	<p>姫路市では様々な取り組みを行い、転出防止策を講じていますが、人口減少・高齢化というのはますます広がっており、これから姫路市全体が推計上このまま推移していくのか、独自推移の状態で行き止まりかといってもやはり限界があります。こちらの姫路市独自推計上よりも減少は激しくなっていくだろうと予想されます。ただ姫路市の特色としては、郊外部についてはほぼ下げ止まりの状態、下げ止まっているというのは、ほとんどいわゆる少子高齢化が進むところの少子化が過ぎ去ってしまっていてほぼ高齢者だけの郊外部というところがあり、近況においてもなだらかな人口減少というところで、急激な落差というのが郊外部についてはなくなってきました。市政としてはそのような流れになってきています。ピンポイントでいうと、</p>

<p>会長</p>	<p>坊勢島は主要構造上、漁業者が非常に多く、公共事業にあまり依存していないので、これまでの主要構造で、坊勢島の人口減少は非常になだらかです。ピンポイントで、坊勢島の人口減少でいいますと、なだらかな人口減少で推移していくと考えています。</p> <p>人口問題であるとか、姫路市全体の政策の問題について、委員の言われるとおり、姫路市では総合計画というものを策定し、人口目標を53万人ということで計画を立てています。特に働く場所、製造業、ものづくりが大変盛んなところであるため、そういった立地であるとか、そういったところにも力を入れて人口減少を食い止めており、その効果が少し出ているのではないかと考えております。4ページで転出から転入超過へ移行しているところがあるのではないかと考えております。次に11ページ以降の今回の肝となる利用者の需要を図るためのアンケート調査、4日間で非常に多岐にわたって検討をしていただいています。これについて、ご意見・ご質問等を受けさせていただきたいと思っております。まず利用者の実態について、実際、坊勢輝汽船ではこのアンケート調査の結果が実際の利用者の実態にあっているかどうかをご意見いただけたらと思っております。こんなものであるとか、少しこの部分は違和感があるなどそういったところのご意見はありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>説明を聞いている限りでは違和感はありません。逆に評価をいただいていると思うような数字が出ていると感じています。</p>
<p>会長</p>	<p>運行事業者からも違和感がないというご意見をいただきましたので、このデータに基づいて何かご質問・ご意見等はございませんでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>アンケートは4日間、全便取られたということで、当然島に渡れば、泊まって帰ってくる人もいます。これだけの高い回収率であれば、行きにアンケートを取り、帰りもアンケートを取る、つまり2回アンケートに回答している方がいるのではないのでしょうか。複数回答を前提としているのですか、それとも片道だけしかカウントしていないのですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今のご質問いただいた点については、100%ではありませんが、ほぼこの4日間の中で一度だけ回答いただいたという状況です。もちろん、何回も利用されている方もいらっしゃると思いますが、港に実際に立っていると、先日回答したという声掛けをいただく方がたくさんおられました。逆に調査員側もあの方に配布したという記憶もあり、基本的には一人1回のみ回答しているのご理解いただいでよろしいかと思っております。</p>

委員	若干の重複はあるが、基本的には一人1回の回答でということで了解しました。
会長	他に何かご意見等はございませんでしょうか。ここをもう少し詳しく知りたいとかございませんでしょうか。
委員	今の説明に関して、概ね一人1回として、大体確認が取れているのだということを書いておかれたらどうでしょうか。
事務局	11ページの図表16の特記事項について、2点を留意しながら実施しているということで、①にアンケート調査は一人1回を原則としているということを書かせていただいております。
委員	それは読みましたが、原則としているのと、実際はどうだったのかというところで、今ほぼ問題はなかったと説明を受けましたので、それを書いておかれたらどうでしょうか。
事務局	資料に追加しておくようにします。
会長	<p>今回のアンケート調査を基に、利用者のニーズみたいなものが少し浮き彫りになってきているのかなと感じています。これについて、今回の趣旨にもあるように、こういう取組みとか、こういうことからこういう取組み、そういったことを改善計画の本編に記載・提案をしていくことになり、それを基に実際事業を実施していくということになります。今回この中(分科会の中)でそういったご意見も含めて何かご質問等ございませんでしょうか。特に今回のアンケート調査では姫路港から乗船される方と、坊勢島から乗船される方で満足度について結構違いが出ていると感じています。そういったことがあるので、生活交通として特に使われている坊勢から乗られる方からのご意見、或いは仕事も含め、観光を目的として姫路港から乗船されるお客様とではやはり違いが出ているのではないかと考えています。ただ共通しているところもあって、駐車場・駐輪場については航路事業の中でなんともし難いところがあるので、今回の航路改善計画の中ではそういったことも行政側に働きかけていきたいというような記載になってこようかと考えています。</p> <p>他に何かございませんか。特に満足度が高いところについては大きな問題はないかと感じていますが、満足度が不満・やや不満の比率が高いところについては、やはり何</p>

	<p>らかの改善余地があるのではないかと考えています。例えば、ダイヤ・便数・運賃の項目については、改善計画の中でも当然検討していかなければいけない課題と思います。維持改善・継続という面からいうと、そんなに突飛なこともできません。一方、船内設備と環境については、Wi-Fiとか、ICカード化とか、そういった項目もありますが、今後の他の陸上交通、例えば路線バスとの連携を考えると、やはりIC化は今後、必要になってくるのかなと感じています。今のところ利用者からは賛成・反対が大体50%ほどですが、若い方についてはIC化しなくてはいけないのではという意見が強いというような傾向も出ています。船内設備等については何か改善点等があればご意見・ご発言をお願いします。</p> <p>次は今後の進め方に入ってくる話にもなりますが、例えばダイヤ・便数・運賃については姫路発と坊勢発とでは少し意見の差があり、坊勢発のほうがより改善要望が強いという結果がでています。こちらについては、ストレートに運行経費に跳ね返ってくる話になるので、今後財務分析等も含め、改めて分科会でその提案内容についてご審議いただくことになるのではないかと考えています。</p> <p>他に待合施設・待合環境等については不満・やや不満に比べて満足が非常に多いという傾向にあり、特にこれについて何かしなければいけないというようなことはこのアンケート結果からは伺えない状況です。ただ、満足であるという結果であっても改善点はあるかと思います。ホームページの発信等についても大きく満足を超えているといった状況ではありますが、細かいことでいうと、船内設備・環境、駐車場・駐輪場、このあたりが不満のほうが多いようなので、駐車場・駐輪場を除いて船内設備・環境についてご意見等はございませんでしょうか。</p>
委員	<p>船内設備・環境の具体例について、こういうものが欲しい、こういうものを設置してほしい、こういうものがあれば良いというのを、もう少し具体的に出していただければ、早急に対応できるもの、何か支援があればできるもの、時間があればできるものに分けて考えることができるので、対策・対応もしやすいのではないのでしょうか。</p>
会長	<p>事務局からの説明では、臭いであるとか、空気清浄機みたいな、臭いに関連しているものではあるが、それについて何か具体的なものはありますか。</p>
事務局	<p>アンケート調査全体を分析する中でいうと、こちらについては自由回答からの推測も含まれますが、38ページに、船内設備・環境としては、一つはコロナの影響もあり、換気・空調が十分に機能しているのかどうかというところを踏まえています。これは今年度だからこその特徴ではないかと思います。もう一つは排気ガスの利用率、日差しなど、運行の状況において座席にどういう環境があるかというところ。そして臭いについて、釣りで利用される方が非常に多いことから、釣り客と一般乗客との座席が交わるときに臭いが気になるという方が結構いたということで、船内環境・設備として</p>



	<p>そのようなものがあると思います。もう一点は利用者が多い時間帯の便数を増やすか、船舶を大型化するかにより満員となることを防いでほしい、こちらも自由回答の中で、コロナの関係の話もありますが、密になるのを避けてほしい、十分に座れるようにしてほしい、座席を確保してほしいなどそういった意見がありました。十分に利用者が30分の運行の間に座れる環境、臭い、座席の清潔度合い、こういったところをもう少し改善してほしい、こういうご意見かと考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>こちらについては坊勢輝汽船のほうに今後ヒアリング等をさせていただきながら、改善できるところ、或いは何らかの支援によって改善させるもの、そういったところの整理をして改善計画のほうに、問題としては、ニーズとしてあるので、改善計画のほうに反映できたらと考えています。</p> <p>他にご意見・ご質問等はございませんでしょうか。無いようですので審議事項について、お諮りします。原案どおり、承認としてよろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>「異議なし」</p>
<p>会長</p>	<p>「異議なし」の声をいただきましたので、原案どおり、承認とさせていただきます。</p> <p>次に会議次第「2 審議事項」の「(3) 離島航路維持改善計画策定調査事業の進捗報告について」事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p><b>【事務局説明】</b></p>
<p>会長</p>	<p>只今の事務局からの説明につきまして、ご意見・ご質問等はございませんでしょうか。今後の進め方として、スケジュール等を示させていただいております。経営診断から、検討関連の整理、航路改善計画の素案の策定、こちらの事務局からの提案通りに進めさせていただいてよろしいでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>他にご意見・ご質問等はございませんか。無いようですので審議事項について、お諮りします。原案どおり、承認としてよろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>「異議なし」</p>

<p>会長</p>	<p>「異議なし」の声をいただきましたので、原案どおり、承認とさせていただきます。</p> <p>現在、国土交通省で新型コロナウイルス感染症対策を実施したうえで、密を避けた運行に対して、2ヶ月間の支援を行っている状況であると思われます。今後、兵庫県でも同様のスキームで支援をされるというお話を伺っており、9月の兵庫県の補正予算ですでに承認されております。近いうちに要綱、もしくは募集要項等を兵庫県のほうから連絡、或いはホームページ上で公表があると考えています。また、これについては是非、航路事業者の皆様にご活用いただいて、2ヶ月間ではありますが、申請をいただけたらと考えております。兵庫県の支援に関して、市町については任意随伴ということで要件が定められておりますが、当市も兵庫県と一緒にこちらの実証実験を支援させていただきたいと考えております。</p> <p>次に、会議次第「3 その他」となります。本日は委員の皆様にお集まりいただきありがとうございますので、ご意見・ご質問等ございましたら、ご発言お願い致します。</p>
<p>委員</p>	<p>資料について、38ページにアンケートの自由回答のクイーンぼうぜの運行希望について、通勤・通学時間帯や荒天時等はクイーンぼうぜを運行してほしい、クイーンぼうぜの運行回数を増やしてほしいというご意見と、10ページにあるクイーンぼうぜの運行に関しては、荒天時とか平日を含む土日、利用者の多い時間帯に運行を行っていると書いてあり、ちょっとアンケートの中身と食い違うところがあるのではないのでしょうか。クイーンぼうぜというのは170トンぐらいで他の船よりもトン数が少し大きい船で、油も消費するし、要は灯油代とか他の19トンの船に比べるとコストもかかる船ですが、これをずっと維持する中で航路損益を見ていくというのと、これを事業から外して見ていくのでは全然コスト面で変わってくると思うのですが、今のクイーンぼうぜの使用実態はどうなっているのでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>統合前までは週末、土日の朝夕は運行しており、統合後もしばらくは同じような使い方をしていましたが、コロナの影響で不安定な運行になっており、最近では週末も動かない状況で、ほぼ荒天時のみの運行です。これもコロナに関することですが、お客さんの要望に押されたというか、私共もそういう対策を取らなければならないのかなというところで、三密を避けるために、クイーンぼうぜを動かしましたが、決まった状況で使うということは今はほぼなくなってきているのが現状です。</p>
<p>会長</p>	<p>他にご意見・ご質問等はございませんか。委員の皆様には、活発なご意見等を賜り、ありがとうございました。以上で本日の審議を終了し、事務局に進行をお返しします。</p>

事務局	<p>委員の皆様におかれましては、熱心にご審議をいただきまして、ありがとうございます。本日の審議の結果に基づきまして、必要な手続等を進めてまいりたいと存じます。</p> <p>以上をもちまして令和2年度第2回 姫路市地域公共交通会議離島航路分科会を終了させていただきます。委員の皆様のご協力を持ちまして、円滑に議事を進行することができました。ありがとうございました。</p>
-----	---